

だい き さいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい  
第5期幸区区民会議第13回専門部会

ちいきりよく く ぶかい  
～地域力で暮らしやすいまち部会～

ぎ じ し だい  
議 事 次 第

にちじ ねん がつ にち きん じはん  
日時 2015年12月18日（金）18時半から  
ばしょ さいわいくやくしょ かいだい かいぎしつ  
場所 幸区役所4階第4会議室

1 かいかい  
開会

2 ぎだい  
議題

- (1) さいわいく きんじよささ あいも での じぎょう とりくみじょうきょう かくにん  
幸区ご近所支え愛モデル事業の取組状況の確認
- (2) ていげんさくてい む ないよう けんとう  
提言策定に向けた内容の検討
- (3) だい き さいわいくくみんかいぎ だい かい ぶかいほうこくないよう けんとう  
第5期幸区区民会議（第5回）における部会報告内容の検討
- (4) だい き さいわいくくみんかいぎふ おーら む じっしないう けんとう  
第5期幸区区民会議フォーラム実施内容の検討
- (5) こんご すけじゅーる  
今後のスケジュールについて

3 ほか  
その他

4 へいかい  
閉会

はいふしりよう  
《配布資料》

- しりよう ちいきりよく く ぶかい ていげん そあん  
資料1 地域力で暮らしやすいまち部会からの提言（素案）
- しりよう ちいきこ みゆ にてい かつせいか し とりくみじれい あん  
資料2 地域コミュニティの活性化に資する取組事例（案）
- しりよう ちょうないかい じちかい かつどうしょうかいばねる あん  
資料3 町内会・自治会の活動紹介パネルについて（案）
- しりよう だい き さいわいくくみんかいぎ だい かい ぶかいほうこくないよう あん  
資料4 第5期幸区区民会議（第5回）における部会報告内容について（案）
- しりよう だい き さいわいくくみんかいぎふ おーら む じっしがいう あん  
資料5 第5期幸区区民会議フォーラム実施概要（案）
- しりよう ちいきりよく く ぶかい ちょうさしんぎすけじゅーる あん  
資料6 「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール（案）
- しりよう だい き さいわいくくみんかいぎ すけじゅーる あん  
資料7 「第5期幸区区民会議」スケジュール（案）

だい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい かくとくもくひょう  
《第13回専門部会（地域力で暮らしやすいまち部会）獲得目標》

- ていげんあん もと ないよう けんとう  
・「提言案」を基にした内容の検討
- だい かいさいわいくくみんかいぎ ぶかいほうこくないよう けんとう ほうこくしゃ けつてい  
・第5回幸区区民会議における部会報告内容の検討、報告者の決定
- さいわいくくみんかいぎふ おーら む かくいん やくわり けつてい  
・幸区区民会議フォーラムにおける各委員の役割の決定

ちいきりょく く ぶかい ていげん そあん  
地域力で暮らしやすいまち部会からの提言（素案）だれ く じつげん  
◎誰もが暮らしやすいまちの実現

ていげん だれ す な ちいき あんしん く  
提言 1：誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、これからの  
ちいきほうかつけ あしすてむ こうちく ちいきじゅうみん しゅたい とりくみ しえん  
地域包括ケアシステムの構築につながる、地域住民が主体となった取組を支援  
し、じじよ ごじよ いしき じょうせい ていあん  
自助・互助の意識を醸成することを提案します。

しゅし  
《趣旨》

- 団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025（平成37）年以降は、国民の医療  
や介護の需要が、さらに増加することが見込まれており、地域の実情に応じた地域包括  
ケアシステムの構築が求められています。
- 川崎市では、2015（平成27）年3月に「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」  
を策定し、これからの地域包括ケアシステムの構築に向けた基本的な考え方を示していま  
す。
- 幸区では、「幸区ご近所支え愛モデル事業」など、見守り体制の充実や介護予防・健康長  
寿に向けて、地域住民が主体となった取組が既にはじまっています。
- 町内会・自治会、民生委員児童委員、地域活動団体などは、地域において、交通安全、環境美化、  
福祉、世代間交流など、様々な分野で継続的な活動を行っています。こうした活動を通じ  
た、顔の見える関係づくりは、これからの地域包括ケアシステムの構築につながる取組であ  
ると考えます。
- 地域住民一人ひとりが、地域包括ケアシステムを支える地域の一人としての自覚を持ち、  
行動することが重要です。そのためには、地域包括支援センターなどと連携をしながら、  
地域住民が主体となった取組を支援するとともに、このような取組を、様々な機会や媒体を  
活用し地域に広めていくことが、地域の理解を深め、自助・互助を醸成することにつなが  
ると考えます。

ちいきこみゆにてい かつせいか  
◎地域コミュニティの活性化

ていげん ちいきこみゆにてい さら かつせいか む ちょうないかい じちかい こうかてき とりくみじれい  
提言2：地域コミュニティの更なる活性化に向けて、町内会・自治会の効果的な取組事例  
ひろ しょうかい ちいき しえん いっそうすいしん ていあん  
を広く紹介するなど、地域への支援を一層推進することを提案します。

しゆし  
《趣旨》

- 町内会・自治会では、明るく住みやすい、安心できるまちづくりのため、住民同士の交流や防災・防犯など地域課題の解決に向けた活動が行われています。一方で、幸区の町内会・自治会の世帯加入率は横ばい傾向にあり、役員の高齢化や後継者不足など、地域活動の停滞が懸念されています。
- 町内会・自治会活動を活性化させるためには、町内会・自治会の魅力を更に高めるとともに、若い世代も町内会・自治会へ加入・参加し、幅広い世代で町内会・自治会を支えることが必要であると考えます。
- 区民会議で実施した、ヒアリング調査等で収集した市内及び他都市の町内会・自治会等の取組の中には、町内会・自治会活動の活性化につながると思われる取組があり、それらを活性化の視点ごとに整理しました。
- こうした点を踏まえ、町内会・自治会の活性化に有効だと思われる取組を、幸区内の町内会・自治会の活動内容と併せて紹介するなど、広く周知することが効果的であると考えます。
- また、若い世代に、町内会・自治会の活動を知って、理解を深めてもらうため、現在、主に転入者へ配布している加入促進チラシを、母子健康手帳の配布時に併せて配布することや、こども関連のイベント等、若い世代が集まる場を活用し、普及啓発パネル等を展示すること、さらに、町内会・自治会の子ども会への加入を通じて、町内会・自治会の理解を深めることも、地域への支援を一層推進する上で効果的であると考えます。

ちいきこみゆにてい かつせいか し とりくみじれい じょうほうはっしん あん  
地域コミュニティの活性化に資する取組事例の情報発信について (案)

1 基本的な考え方

- (1) 地域コミュニティ活動の活性化には、町内会・自治会の取組を一層推進することが効果的であると考えます。
- (2) 「地域力で暮らしやすいまち部会」では、市内及び他都市の町内会・自治会における効果的な取組事例について、活性化の視点ごとに整理しました。
- (3) 整理した7つの視点及び取組事例は、市政日より幸区版や広報特別号などの広報媒体、町内会・自治会の取組事例の紹介、こども関連イベント等でのパネル展示などで、活用していくことが考えられます。

2 7つの視点及び取組事例

視点	主な取組事例等
① 高齢者の暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り助け合いネットワーク (鋼管通り2丁目町内会)</li> <li>・れんらくカードの作成・防災訪問 (横浜市くぬぎ台団地自治会)</li> <li>・自宅の両隣を見守る活動 (立川市大山自治会)</li> <li>・友愛活動を通しての見守り (戸手中部町内会老人会)</li> <li>・幸区ご近所支え愛モデル事業 (幸区モデル地区) など</li> </ul>
② 子育てのしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山ママさんサポートセンター (立川市大山自治会)</li> <li>・民生委員と協力した子育てサロンの運営 (横浜市本牧二丁目北部町内会)</li> </ul>
③ 地域住民の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が自ら作るイベントの実施 (立川市大山自治会)</li> <li>・清掃活動や小学校との関係構築による交流 (戸手中部九十九会)</li> <li>・近隣町内会と大規模マンションとの連携 (神明町町内会・オーベルグランディオ川崎自治会) など</li> </ul>
④ 安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一街区さわやかパトロール隊」による活動 (洋光台北団地一街区自治会)</li> <li>・いざというときのための繰越金等の確保 (横浜市くぬぎ台団地自治会他)</li> <li>・自治会活動傷害保険への加入 (立川市大山自治会) など</li> </ul>
⑤ 加入のメリットに直結する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同購入の仕組み (横浜市くぬぎ台団地自治会)</li> </ul>
⑥ 身近に感じることが出来る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間体制の相談窓口 (立川市大山自治会)</li> <li>・自治会会館等でのスタッフ常駐 (横浜市くぬぎ台団地自治会他) など</li> </ul>
⑦ 加入・参加のしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材バンク (立川市大山自治会)</li> <li>・役員活動費の支払い (世田谷区桜上水一丁目町会)</li> <li>・町内会入会届のFAXやメールでの対応 (横浜市東山田三丁目町内会)</li> <li>・転入者や子育て世帯等のターゲットを絞った個別訪問等による周知 (八王子市上宿町会)</li> <li>・自治会運営の効率化 (麻生区はるひ野自治会) など</li> </ul>

## 視点1 高齢者の暮らしやすさ

### <取組事例>

#### ①見守り・助け合いネットワーク【鋼管通り2丁目町内会（川崎区）】

全戸アンケート調査を実施し、日頃の見守りや災害時の支援などを希望する人を募り、近隣の人に支援者となってもらい日頃の見守り活動を行っている。見守り対象者の希望に応じて、日常見守り、定期見守り、災害時救護の3つに見守り活動を行っている。

#### ②高齢者のサロンの運営【くぬぎ台団地自治会等（横浜市）】

くぬぎ台団地自治会では、高齢者の交流等を目的として、70歳以上の単身者を対象に3か月に一度、集会所で高齢者サロンを行っている。

こうした高齢者が気軽に立ち寄り、交流できる場づくりが各地で行われている。

#### ③れんらくカードの作成・防災訪問（70歳以上が対象）【くぬぎ台団地自治会（横浜市）】

70歳以上の高齢者を対象に住所、氏名、血液型、通院先などの情報を記入する「れんらくカード」を作成し、高齢者の安心な暮らしにつなげている。毎年2月に対象者に対して「防災訪問」を行い、「れんらくカード」の情報更新や新規作成を行っている。

#### ④孤独死ゼロ対策【大山自治会（立川市）】

高齢化率が30%を超え、独居高齢者も多数いる状況において、ひとつの孤独死をきっかけに、住民全員に「向こう三軒両隣」の精神を取り入れ、ポストに郵便物がたまっていないかどうかなど、自宅の両隣を見守る活動を導入し、「一軒が二軒を見る」ことを徹底している。

また、企業とも連携し、ガス会社、電力会社、水道局には検針や集金の際に極端に使用量が減っていないか、新聞販売店には朝刊配達時に前日の夕刊が郵便受けに残ったままになっていないかなど、異変があった場合は自治会に連絡してもらっている。

#### ⑤友愛活動を通しての見守り（原則老人クラブ会員が見守り対象）【戸手中部町内会老人会「九十九会」（幸区）】

老人クラブ連合会全体の取組である「友愛活動」により、寝たきりや一人で歩けない高齢者を対象に、見守り活動を行っている。見守り対象者は、九十九会の会員で、区の老人クラブ連合会にも登録している人である。活動内容としては、2か月に1回程度、対象者の自宅を訪問し、話し相手になっているほか、訪問時に月ごとに作成している九十九会の行事予定を配布し、外出を促している。

#### ⑥地域包括支援センターとの連携（会議への定期的参加）【戸手中部町内会老人会「九十九会」（幸区）】

町内会・自治会等の関係者が地域包括支援センターの会議に出席し、寝たきりや虚弱者の問題などについて意見交換を行ったり、町内会・自治会等の内部で地域包括支援センターについての周知を行ったりするなど、地域包括支援センターとの連携を深める取組を行っている。

#### ⑦高齢者の買物支援【若葉自治区会（北九州市）】

高台にある戸建て住宅地で交通の便が悪いことから、自治会独自の事業として、月2回、近所の

スーパーまで1往復100円で乗ることができる「買い物タクシー事業」を実施している。帰りは買い物荷物があるため、自宅で降車できるようにしている。買い物支援だけでなく、高齢者の外出機会をつくとともに、コミュニケーションの場にもなっている。

### ⑧安否確認用マグネットを活用した見守り活動【光が丘第三アパート自治会（練馬区）】

高齢者に安否確認用のマグネットを配布し、ボランティアが毎朝、玄関にマグネットがあるかどうかを確認する見守り活動を行っている。プライバシー侵害の懸念があったが、それよりも命の大切さを訴え、実行に移している。

### ⑨高齢者の見守り活動を行う「おたすけたい」の運営【横川町住宅自治会（八王子市）】

自治会内の高齢者世帯に対し、電球の交換や家具の移動など、身の回りの世話を「おたすけたい」という組織を運営している。これまで会員が社会で経験してきた特技、技術を活かしたサービスを行っている。

### ⑩幸区ご近所支え愛モデル事業【柳町自治会・河原町団地13・14・15号棟自治会・東小倉町内会（幸区）】

住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができる地域の実現を目指し、地域全体で自助・互助の醸成に取り組むことを目的に平成27年度に実施した。町内会・自治会や民生委員など地域住民が主体となって「何らかの支援を必要とする人」に対し、日頃の声掛けや地域の行事への参加の誘いなどを行っている。

### ⑪向こう三軒両隣の精神に根差した顔の見えるまちづくり【鷺沼町会（宮前区）】

認知症高齢者の徘徊発見訓練を実施するとともに、徘徊者捜索のための連絡網を作成している。災害時における地域の共助を重視した防災訓練を実施し、参加者500人を超え、地域の交流の場にもなっている。

## 視点2 子育てのしやすさ

### ①大山ママさんサポートセンター（大山MSC）【大山自治会（立川市）】

元保育士や看護師なども含む、平均年齢50代、子育てを経験したプロ集団24名で平成11年に設立。主な活動内容は、一時保育（無料）、児童虐待の防止、育児相談（無料）等で必要に応じて24時間対応し、宿泊もできる施設になっている。また、高齢者の話し相手や見守り等の要望にも対応した取り組みを行っている。

### ②会館を有効活用し、民生委員児童委員と協力して運営する子育てサロン【本牧二丁目北部町内会（横浜市）】

赤ちゃん教室に集まったお母さんたちが、教室終了後も立ち話をして情報交換をしている姿を見て、気軽に集まれる場所として、町内会館を活用し、子育てサロン「親子の広場PAOPAO」の運営を始めた。毎週水曜午前10時から正午まで、民生委員児童委員と町内会福祉部が協力して運営している。

## 視点3 地域住民の交流促進

### ① 住民が自ら作るイベントの実施【大山自治会（立川市）】

イベントごとに協力員を募集し、企画立案、演出、参加者の確保などを行い、イベントを実施している。協力員自らが創意工夫で楽しいイベントを作っている。イベントの開催によって、地域住民が顔見知りになり、交流が生まれるとともに、防災力の向上にもつながっている。

### ② 清掃活動や小学校との関係構築による交流【戸手中部町内会老人会「九十九会」（幸区）】

毎月第2・4日曜日に戸手小学校・川崎商業高校付近の緑道の清掃活動を行っている。20名程度が参加している。清掃活動は、ボランティアとして行っているが、会員同士の交流の場にもなっていて、散歩感覚で楽しみながら実施している。

### ③ コミュニティカフェなどの交流の場づくり【ボランティアグループすずの会（宮前区）等】

ボランティアグループすずの会では、地域で孤立しがちな高齢者や障害者、子育て中の母親が気軽に集まれる場（ダイヤモンドクラブ）をつくっている。緩やかな信頼関係づくりを心がけ、あえて定期的な開催日時は決めていない。また、ご近所のつながりを大切にするため、ダイヤモンドクラブの参加者には個人宅の開放をお願いしている。

こうした地域住民の交流を促進する場づくりが各地で行われている。

### ④ 近隣町内会と大規模マンションとの連携【神明町町内会・オーベルグランディオ川崎自治会（幸区）】

平成17年に建設された430世帯のマンションが自治会設立に当たり、近隣の神明町町内会の行事に参加し、運営のノウハウを教わるとともに、人的交流を図っている。現在ではオーベルグランディオ川崎自治会主催のもちつき大会に、神明町町内会から応援があるなど、協力関係が築かれている。

### ⑤ 地元の伝統文化等を活用した地域活動【新丸子東2・3丁目親和会（中原区）】

新丸子東2・3丁目親和会は、神社の祭礼、阿波おどり、丸子の渡し、運動会など、地域の行事に密接に関わり、地域としての結束力を強めている。

### ⑥ マンションと戸建てが共に進めるまちづくり【井田協友会（中原区）】

平成7年頃から建設されているマンションに対して、開発段階から開発業者へ積極的にアプローチするとともに、管理組合に対してこまめな対応を行い、現在では、マンション世帯が井田協友会加入者全体の約2/3を占めている。町内会加入後は、運営の透明性に配慮するとともに、情報発信・共有を行い、防災訓練・お祭り等の行事への参加を促進している。

## 視点4 安全・安心の確保

### ① 防災・防犯活動（イベントや防災訓練）【大山自治会（立川市）】

「防災ウォークラリー大会」などのイベントや「防災訓練」の実施、他団体との協力による「あいあいパトロール隊」活動の実施、「大山自治会防災計画マニュアル日ごろの備え10か条」の配布などの取り組みを行っている。

## ②地域に即した「実践防災テキスト」の作成【つつじが丘自治会（横浜市）】

「大地震が起こったら、私たちの住むこのつつじが丘はどうなるのか」と言う住民の疑問に答えるとともに、「災害時に備え、住民の皆さんに知っておいて欲しいこと」を伝えるために、「つつじが丘はどうなるのか」にこだわった防災テキストを作成した。

## ③防犯ステーションの運営（ボランティア）【瀬谷四丁目町内会（横浜市）】

相鉄線瀬谷駅を利用する他の町内会も含め、1世帯100円の募金を呼びかけ、200万円集め、駅北口に防犯ステーションを建設した。関係する町内会が協力し、ボランティアで運営している。

## ④「一街区さわやかパトロール隊」による活動【洋光台北団地一街区自治会（横浜市）】

「一街区さわやかパトロール」を結成し、毎朝6時半過ぎ頃から、団地の広場に集まり、みんなでラジオ体操を行った後に町内のパトロールを実施している。空き巣被害の多い時期があったが、毎日の防犯パトロールでその件数は大幅に減少した。住民の目が届いていることをアピールし続けることが犯罪抑制につながっている。

## ⑤住民の異変を察知するヒント等をまとめた「おせっかいなまち・光が丘」の作成・配布【光が丘地区連合協議会（練馬区）】

地域の課題になっていた「孤立死」の対策として、住民が異変を発見した場合に、どこに連絡・相談すればいいかが分かるようにしたほうがいいという考えから、「おせっかいなまち・光が丘～孤立死ゼロをめざして～」を作成し、光が丘地域の住民に全戸配布した。  
冊子には、自分の存在を知ってもらうために「玄関のドアに表札をかけること」から始まり、近所の人の変化を発見するポイント、異変を発見した時の相談先、相談後の専門機関による対応例など、住民だからこそその視点やアイデアが記載されている。

## ⑥いざというときのための繰越金等の確保【大山自治会（立川市）、くぬぎ台団地自治会（横浜市）】

災害等に備えて、食事、飲み物などの確保や、いざというときに利用できるお金の積立などが行われている。

## ⑦自治会活動傷害保険への加入【大山自治会（立川市）】

全世帯がケガ、病気、犯罪、食中毒などを対象とした自治会活動傷害保険に加入し、安心して自治会活動が行えるようにしている。

## ⑧3本だての名簿作成（全住民の自治会名簿、高齢者の名簿、子どもの名簿）【大山自治会（立川市）】

全住民の基礎データを登録した自治会名簿の他に、65歳以上の高齢者名簿、子どもたちの名簿を作成し、高齢者や子どもたちの状況を把握している。名簿の管理にあたっては、他人が見ても分からないような記号で記し、役員（3役）だけが把握できるようにしている。

## ⑨まちの実情を知り防災を考える取組【中野島町会（多摩区）】

平成19年に「安全・安心のまちづくり」の具体化を考えるために防災委員会を設置し、まち歩き



を通じて危険箇所を把握し、町会独自の防災マップを作成した。

## 視点5 加入のメリットに直結する取組

### ①共同購入の仕組み【くぬぎ台団地自治会（横浜市）】

畳、ふすまなどの取替えが個人負担となるため、自治会が居住者に対して、共同購入の募集を行い、より安価に取替え等ができるようにしている。共同購入が自治会の加入メリットにもなっている。

## 視点6 身近に感じることでできる取組

### ①24時間体制の相談窓口【大山自治会（立川市）】

会長をはじめとする役員が自治会専用の携帯電話を持ち、いつでも住民からの相談に対応できるようにしている。

### ②自治会会館等でのスタッフ常駐【大山自治会（立川市）、くぬぎ台団地自治会（横浜市）、下和泉住宅自治会（横浜市）】

住民に対しきめ細かな対応を行うとともに、町内会・自治会の施設を気軽に利用できるようにしてもらうために、相談窓口として自治会館などにスタッフを常駐させている。スタッフは有償の場合もある。

### ③「何でも相談会」の取組【光が丘第三アパート自治会（練馬区）】

自治会長が、当時会長になる前に、自宅で月1回、無料の住民向け「何でも相談会」を始めた。いつでも相談できるように、会長自身の携帯電話番号を記載したチラシを、近隣棟を含め、4000戸に配布し呼びかけた。

## 視点7 加入・参加しやすい環境づくり

### ①人材バンク（様々な技術を持っている住民のリスト化）【大山自治会（立川市）】

会長が日頃得る情報を踏まえ、パソコン、絵、大工、板金屋、植木屋、和裁、洋裁、折り紙、書道など、様々な技術を持っている住民をリスト化し、その技術を活用して、住民サービスを行っている。

### ②大学との連携【長沢まちづくり協議会（多摩区）】

長沢まちづくり協議会（以下「協議会」）は「通りすがりのまち」から「魅力のあるまち」にするために、住民と商店会の有志が集まり、設立された。長沢のまちおこしを目的に空き店舗を活用して開設されたコミュニティ施設である「長沢ひろば」の施設運営を地元の専修大学と連携して行い、イベントなどを実施している。

### ③公募委員の委員会でまちづくりの課題を解決【下和泉住宅自治会（横浜市）】

役員が課題解決にあたり任期が切れた場合、課題解決が先送りになる可能性があることから、ま

ちづくりの課題ごとに地域から委員を公募し、委員会を設置して検討し、課題解決まで解散しない仕組みをつくっている。当初は住民の自主参画を促すのが狙いだったが、自分たちの手でまちを良くしていくことの感動が味わえるので、地域活動のやりがいにつながっている。

#### ④ 役員活動費の支払い【桜上水一丁目町会（世田谷区）】

役員は全てボランティアという考え方を改め、町会会員が町会外で活動した場合は、交通費実費と活動費を支給している。また、防犯パトロールの場合も障害保険に加入するとともに、活動費を支給している。

#### ⑤ 活動に関われる程度によって入会できる仕組みの構築【小山二丁目自治会（相模原市）】

自治会活動に関心が高く、加入世帯が多くなりがちなマンション、賃貸アパートの居住者を「特別会員」、地域内の事業者を「賛助会員」、常時活動への参加が難しい会員などを「協力員」として、それぞれの立場やライフスタイルに合わせた会員を設定している。

#### ⑥ 町内会入会届のFAXやメールでの対応【東山田三丁目町内会（横浜市）】

集合住宅の加入促進に取り組む中で、気軽に入会してもらおう工夫として、FAXやメールで入会できるようにしている。

#### ⑦ 転入者や子育て世帯等のターゲットを絞った周知（個別訪問等）【上宿町会（八王子市）】

転入世帯に対して、各組単位で情報をつかみ、理事会に報告し、入居後7～10日以内に会長副会長の2名で戸別訪問するようにしている。訪問する際、総会資料をもとに年間の行事予定や会費などについて説明を行い、特に子どもがいる世帯には、地域内の子ども育成会という組織の紹介、お祭りをはじめとする各種イベントの案内など、小さな子どもでも参加できる行事を通じ、地域で安心して暮らせるための見守り活動を行っている姿勢をアピールするようにしている。

#### ⑧ 内容充実の会報【本牧二丁目北部町内会（横浜市）】

手作りの町内会報に行事予定を中心としたお知らせを盛り込むとともに、町内会活動への理解と参加も呼び掛けている。

#### ⑨ 自治会独自のホームページの作成【鴛鴦沼自治会（多摩区）】

自治会だよりのほかに、自治会独自のホームページを作成し、イベント情報から防災・防犯、環境情報といった自治会の取組を積極的に発信している。

#### ⑩ 自治会運営の効率化【はるひ野町内会（麻生区）】

平成15年に住居建設・分譲が開始され、平成16年にはるひ野町内会が設立された。会員世帯は1,500世帯を超え、戸建てはほぼ100%加入している。計画書や報告書を充実させ、見える化を推進しているほか、ビジネスマン中心のため、会議開催数を極力少なくし、メールを活用することにより運営の効率化を図っている。

### 3 ピックアップ

#### 視点1 高齢者の暮らしやすさ

#### ■見守り・助け合いネットワーク【鋼管通り2丁目町内会（川崎区）】

<p>取組み概要</p>	<p>全戸アンケート調査を実施し、日頃の見守りや災害時の支援などを希望する人を募り、近隣の人に支援者となってもらい日頃の見守り活動を行っている。見守り対象者の希望に応じて、日常見守り、定期見守り、災害時救護の3つの見守り活動を行っている。</p>
<p>取組みに至った背景</p>	<p>一人暮らし男性の孤独死がきっかけとなり、民生委員1人では、地域の高齢者を見切れないので、町内会全体で見守りを行うことになった。</p>
<p>取組みのポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常見守り、定期見守り、災害時救護の3種類の見守り活動を展開</li> <li>・活動内容決定後に、全戸アンケートを実施し、見守りニーズを把握</li> <li>・地域を14にグループ化し、近隣住民同士が日頃の付き合いの中で無理なく行える範囲での見守りを実施</li> <li>・取組開始時に、対象者と支援者の顔合わせを兼ねて、グループ毎に説明会を開催し交流を図った</li> <li>・見守り活動による、地域の一体感、顔の見える関係、その関係による他の活動への参加などにより、地域が活性化</li> <li>・民生委員、地域包括支援センターと連携するとともに、さらに近隣の病院で実施している防災訓練に町内会として参加し、要援護者、傷病者の移動訓練を実施している</li> </ul>
<p>部会としての注目ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自らの意思で取り組んでいることが重要。</li> <li>◎ 3つの見守り活動を展開していることが良い。</li> <li>◎ 全世帯を対象とした防犯マップを作成しているのは良い。</li> </ul>

#### ■れんらくカードの作成・防災訪問（70歳以上が対象）【くぬぎ台団地自治会（横浜市）】

<p>取組み概要</p>	<p>70歳以上の高齢者を対象に住所、氏名、血液型、通院先などの情報を記入する「れんらくカード」を作成し、高齢者の安心な暮らしにつなげている。毎年2月に対象者に対して「防災訪問」を行い、「れんらくカード」の情報更新や新規作成を行っている。</p>
<p>取組みに至った背景</p>	<p>1989年（平成元年）に「優良高齢者指定住宅」に指定され、団地に居住する高齢者が多くなったため</p>
<p>取組みのポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年「れんらくカード」作成者、新規に作成が必要な対象者に対して、「防災訪問」を実施し、「れんらくカード」の情報更新、又は新規作成を行っている</li> <li>・これまで一度も「れんらくカード」の作成を断られたことがない</li> <li>・「れんらくカード」の作成に合わせて、緊急時に隣人に危険を知らせるための</li> </ul>

	<p>「命の笛」を配布している</p> <p>・民生委員との連携（お互いが持っている情報の共有）</p>
部会としての注目ポイント	<p>◎「れんらくカード」は災害時に活用するものであるが、年に1回情報を更新しているため、見守りにつながっていると見える。</p>

視点2 子育てのしやすさ

■ 大山ママさんサポートセンター（大山MSC）【大山自治会（立川市）】

取組み概要	<p>元保育士や看護師なども含む、平均年齢50代、子育てを経験したプロ集団24名で平成11年に設立した。</p> <p>主な活動内容は、一時保育（無料）、児童虐待の防止、育児相談（無料）等で必要に応じて24時間対応し、宿泊もできる施設になっている。また、高齢者の話し相手や見守り等の要望にも対応した取組を行っている。</p>
取組みに至った背景	<p>団地の建て替えで団地の棟数が増え、子どもの数も増えるとともに、児童虐待が発生し、さらに子どもたちの非行が自立つようになってきたため</p>
取組みのポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に頼らず、自治会自らサポートセンターを設立</li> <li>・スタッフにふさわしい人材に呼びかけ、子育てを経験したプロ集団を組織</li> <li>・親の入院により子どもを預けたいといった要望に合わせて、24時間体制でサポート</li> </ul>
部会としての注目ポイント	<p>◎町内会・自治会の加入に向けて、若い人へのアピールが必要。</p> <p>◎若い人とつながるきっかけがほしい。地域力には子どもや若い人の力も必要。</p> <p>◎親が入院するなどして、家に子どもが一人になってしまったときに、地域で支援できる体制があると良い。</p>

視点4 安全・安心の確保

■ 災害時を見据えた資金の確保と防災協定の締結【くぬぎ台団地自治会（横浜市）】

取組み概要	<p>災害等に備え、積立を行うとともに、近隣のスーパー、薬局、電気店と防災協定を締結している。</p> <p>防災協定の締結先とは、年に1回、自治会が購入予定の商品及びその購入額の点検を行っている。</p>
取組みに至った背景	<p>自主防災組織の設立（昭和60年）がきっかけとなり、災害時に備えた取組が始まった。</p>
取組みのポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いざというときに活用できる積立金</li> </ul>

	<p>・災害発生時に、協定締結先にあるものを購入するため、自治会は無駄なお金を使う必要がなく、協定締結先も災害時に備え商品を備蓄しておく必要がないため、双方に負担がない仕組みとなっている。</p>
--	--

視点7 加入・参加しやすい環境づくり

■人材バンク（様々な技術を持っている人のリスト化）【大山自治会（立川市）】

<p>取り組み概要</p>	<p>会長が日頃得る情報から、パソコン、絵、大工、板金屋、植木屋、和裁、洋裁、折り紙、書道など、様々な技術を持っている住民をリスト化し、その技術を活用して、住民サービスを行っている。</p>
<p>取り組みに至った背景</p>	<p>既に社会で発揮されている能力、また、資格や経験があるのに活用されていない能力を、自治会のために発揮してもらうため</p>
<p>取り組みのポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に眠っている能力や技術を持っている人材の情報を整理し、リスト化（情報の見える化）</li> <li>・住民の困りごとを住民の力で解決</li> <li>・課題解決を通じて、コミュニケーションの輪が広がる</li> </ul>
<p>部会としての注目ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎多様な人材の発掘につながる。</li> <li>◎人材の紹介で輪が広がり、趣味の会やボランティアが発掘できる。</li> <li>◎ボランティアを充実させることにより支援を拡大できるのではないかと。</li> </ul>

ちょうないかい じちかい かつどうしょうかい ぼねる あん  
町内会・自治会の活動紹介パネルについて（案）

## 1 目的

こども関連イベント等、若い世代が集まる場を活用し、町内会・自治会の活動を知って、理解を深めてもらうことを目的に、町内会・自治会の活動内容を写真やイラストで分かりやすく表現したパネルを作製する。

## 2 形状

A1パネル 3枚程度

## 3 掲載内容

## (1) 町内会・自治会にみんなで参加・加入しよう！

町内会・自治会の活動全般

## (2) 活動内容

ア 災害に強いまちづくり

いつ来るかわからない災害（地震・火事・水害）。そのとき、隣近所で助け合う協力体制として自主防災組織をつくっています。

イ 安心して暮らせるまちづくり

非行や犯罪のない安心して暮らせるまちづくりは私たちみんなの願い。地域を巡回する防犯パトロール、暗い夜道を照らす防犯灯の設置や維持管理などを行っています。

ウ 交通事故の少ないまちづくり

子どもや高齢者を守るため、地域ぐるみで交通安全活動を行っています。

エ きれいなまちづくり

誰もが望む花や緑が美しく、ごみのないきれいなまち。ごみ集積所の維持管理、資源分別収集、公園・道路の清掃など地域の美化活動に力を入れています。

オ ふれあいのあるまちづくり

祭り、盆踊り、運動会は、みんなが気軽に参加できる地域の行事。人と人とのふれあいが地域のつながりを強くします。

## (3) 幸区町内会連合会ホームページの紹介

だい きさいわいくくみんかいぎ だい かい ぶかいほうこくないよう あん  
第5期幸区区民会議（第5回）における部会報告内容について（案）

1 ほうこく ないようこっし  
1 報告の内容骨子

- (1) ちいきこみゆにてい かつせいか し とりくみじれい  
地域コミュニティの活性化に資する取組事例について  
ひありんぐ ちょうきなど しゅうしゅう しないおよ たとし ちょうないかい じちかいなど ちいき  
ヒアリング調査等で収集した市内及び他都市の町内会・自治会等の地域  
こみゆにてい かつせいか し とりくみじれい ほうこく  
コミュニティの活性化に資する取組事例について、報告する。
- (2) ちいきりよく く ぶかい ていげんないよう  
地域力で暮らしやすいまち部会からの提言内容について  
ぶかい ちょうきしんぎ もと ていげん ないよう ほうこく  
部会における調査審議を基にした提言の内容について報告する。

2 ほうこくしゃ  
2 報告者

《ほうこくしゃ》 \_\_\_\_\_ 委員

※第4回企画運営会議（1月25日（月）18:30～）に出席できる委員が望ましい。

だい き さいわいくくみんかいぎ ふ お ー ら む じっしがいようあん  
第5期幸区区民会議フォーラム実施概要案

1 もくてき  
目的

さいわいくくみんかいぎ とりくみ ていげんないようなど ほうこく くみんかいぎ にんちどこうじょう ちいき  
幸区区民会議での取組や提言内容等を報告し、区民会議の認知度向上と、地域の  
かだいかいけつ む いっそう くみん さんか きょうどう ほか  
課題解決に向けた、より一層の区民の参加と協働を図るため、「幸区区民会議  
フォーラム」を開催する。

2 じっしにちじ  
実施日時

へいせい ねん がつ にち ど しみんかつどうこうりゅうい べん と どうじつかいさい  
平成28年2月20日（土）13:00～16:00 → 「市民活動交流イベント」と同日開催

3 かいじょう  
会場

さいわいくやくしょ かい  
幸区役所1階

4 ないよう  
内容

(1) くみんかいぎ とりくみしょうかい  
区民会議の取組紹介

あ ばしょ すてーじ  
ア 場所 ステージ

い じかん  
イ 時間 14:00～15:00

う しんこう ① にしのいいんちようあいさつ くみんかいぎ しく せつめい  
ウ 進行 ① 西野委員長挨拶、区民会議の仕組みについて説明

② ぶかいほうこく ふん たんどう いいん  
② A部会報告（15分） 担当： 委員

③ しつぎおうどう ふん  
③ 質疑応答（15分）

④ ぶかいほうこく ふん たんどう いいん  
④ B部会報告（15分） 担当： 委員

⑤ しつぎおうどう ふん  
⑤ 質疑応答（15分）

え しかい たんどう いいん  
エ 司会 担当： 委員

(2) ぶーすしゅつてん  
ブース出展

あ ばしょ しゅつてん てんじす ぺー す  
ア 場所 出展・展示スペース

い じかん  
イ 時間 13:00～16:00

う やくわり  
ウ 役割

あ し み ゅ れ ー し ょん き き た い げん  
(ア) シミュレーション機器体験

じてんしゃじこぜろぶかいいいん たんどう  
→ 自転車事故ゼロ部会員が担当

い ば ね る せつめい  
(イ) パネル説明

ぜんはん (13:00～14:00) たんどう いいん いいん  
前半 担当： 委員、 委員

こうはん (15:00～16:00) たんどう いいん いいん  
後半 担当： 委員、 委員

※「区民会議の取組紹介」の時間は、区職員、コンサルタントが担当

う しー る とうひょう  
(ウ) シール投票

たんどう いいん いいん いいん  
担当： 委員、 委員、 委員、

いいん いいん  
委員、 委員、



エ シール投票内容候補

一 質問数と内容について検討

(ア) 「幸区の地域課題と思うもの」について投票 (複数回答)

《項目例》

- ・ 自転車マナー
- ・ 子育て支援の取組
- ・ 高齢者支援の取組
- ・ 緑化に向けた取組
- ・ 地域活動・ボランティア活動 等

(イ) 「10年後の幸区は、どんなまちを目指すべきか」について投票 (複数回答)

《項目例》

- ・ 防犯、交通安全など安全・安心なまち
- ・ 地震、災害などの災害に強いまち
- ・ 高齢者、障害者などを支え合うまち
- ・ 子どもを育てやすいまち 等

(ウ) 「幸区区民会議の提言内容で共感できるもの」について投票 (複数回答)

《項目例》

- ・ 自転車通行環境の改善
- ・ 自転車利用者の意識改善
- ・ 広報を通じた「地域における自助・互助意識の醸成」
- ・ 広報を通じた「町内会・自治会活動の活性化」 等

(エ) 「幸区区民会議の提言内容に関連する事項」について投票 (複数回答)

a 自転車事故を無くすために有効だと思う対策

《項目例》

- ・ 危険箇所での標識などの設置
- ・ 違反者に対する指導や取り締まりの強化
- ・ 自転車利用者がルールを守るように心がける 等

b 「町内会・自治会活動に期待すること」について投票 (複数回答)

《項目例》

- ・ 気軽に参加しやすい組織づくり
- ・ 活動の更なるPR
- ・ 活動内容の充実 等

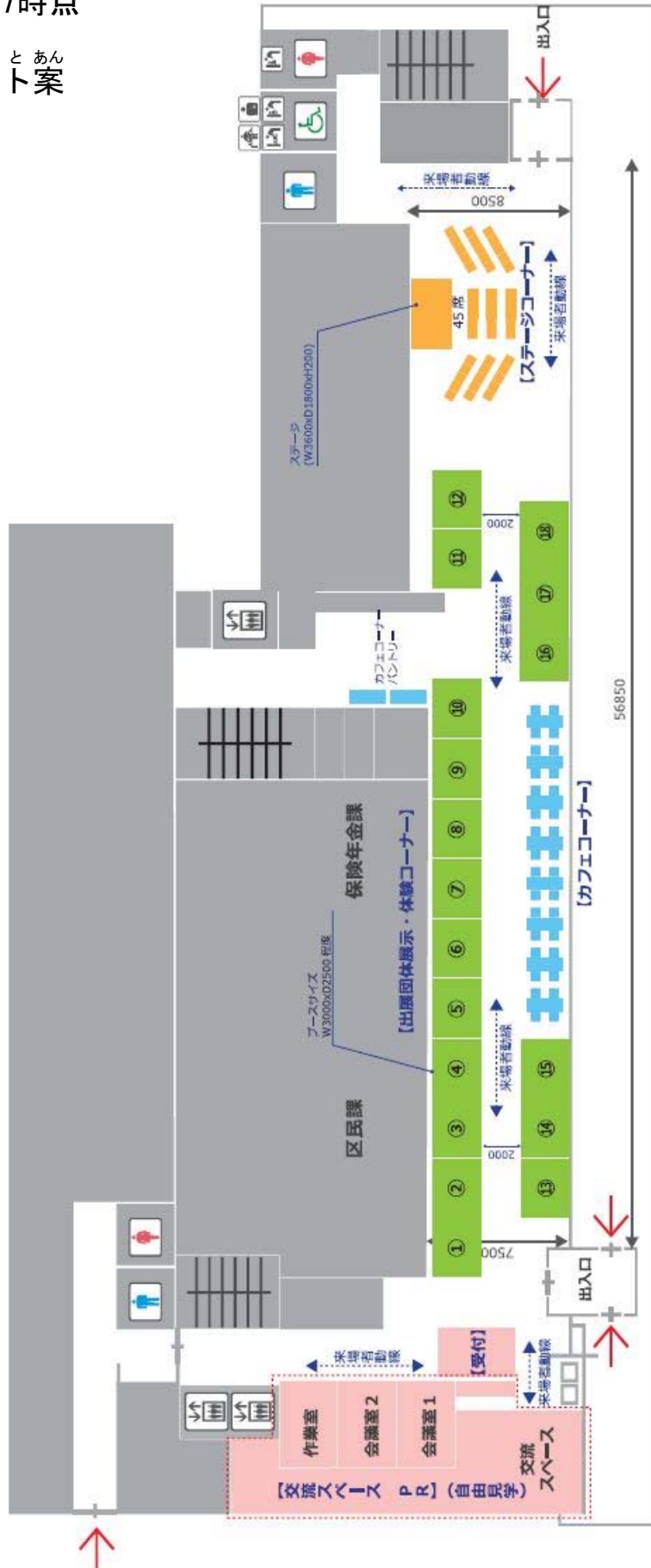
c 「高齢社会で必要だと思うこと」について投票 (複数回答)

《項目例》

- ・ 近所での助け合い
- ・ 気軽に相談できる人や場所
- ・ 仕事やボランティア活動などの場 等

H27. 11. 27時点

レイアウト案



「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール（案）

ねんど 年度	つきひ 月日	かいぎめい 会議名	かいぎ かくたくもくひょう 会議の獲得目標
2015(平成27)年度	4～6月	ひありんぐちやうさ じっし ヒアリング調査の実施 ①ろうじんくらぶ とでちゆうぶちやうないかい つくもかい 「九十九会」 ②くぬぎたいだんちぢちかい 「くぬぎ台団地自治会」	
	4月20日	だい かいぶかい 第6回部会	ちやうないかい じちかい じっし とりくみ ほうこうせい かくにん ・町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認①
	6月9日	だい かいぶかい 第7回部会	さいわいく きんじよさき あいも てる じぎやう ・「幸区ご近所支え愛モデル事業」の情報共有 ちやうないかい じちかい じっし とりくみ ほうこうせい かくにん ・町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認②
	6月29日	だい かいぶかい 第8回部会	こんご とりくみ ほうこうせい かくにん ・今後の取組の方向性の確認
	7月24日	だい かいぶかい 第9回部会	だい かいくみんかいぎ ほうこくないやう かくにん ・「第4回区民会議」報告内容の確認
	8月31日	だい かいくみんかいぎ 第4回区民会議	ちやうさしんぎないやう ほうこく 《調査審議内容の報告》 ひありんぐちやうさ さいわいく きんじよさき あいも てる じぎやう ・ヒアリング調査や「幸区ご近所支え愛モデル事業」の じやうほうしゆうしゆうなど じやうきやうほうこく 情報収集等の状況報告 こんご とりくみ ほうこうせい ・今後の取組の方向性について
	9月24日	だい かいぶかい 第10回部会	こんご ちやうさしんぎじこうなど かだいかいけつ む とりくみ かくにん ・今後の調査審議事項等、課題解決に向けた取組の確認
	10月29日	だい かいぶかい 第11回部会	ていげんのとりにまとめにむ かくにん ・提言のとりにまとめにむに向けた確認 ちいきこみゆにてい かつせいしか し じやうほうほっしん ないやうかくにん ・地域コミュニティの活性化に資する情報発信の内容確認 くみんかいぎふおーらむ じっしないう けんとう ・区民会議フォーラムの実施内容の検討
	11月30日	だい かいぶかい 第12回部会	ちいきこみゆにてい かつせいしか し じやうほうほっしん ないやうかくにん ・地域コミュニティの活性化に資する情報発信の内容確認 ぶかいていげんないやう けんとう ・部会提言内容の検討 くみんかいぎふおーらむ じっしないう けんとう ・区民会議フォーラムの実施内容の検討
	12月18日	だい かいぶかい 第13回部会	ぶかいていげんないやう けんとう ・部会提言内容の検討 くみんかいぎふおーらむ じっしないう けんとう ・区民会議フォーラムの実施内容の検討
	2月5日	だい かいくみんかいぎ 第5回区民会議	ちやうさしんぎないやう ほうこく 《調査審議内容の報告》 ぶかいていげんないやう ほうこく ・部会提言内容の報告 くみんかいぎふおーらむ じっしないう かくにん ・区民会議フォーラムの実施内容の確認
	2月20日	くみんかいぎふおーらむ 区民会議フォーラム	

だい きさいわいくみんかいぎ すけじゆーるあん へいせい ねん がつ にちじてん  
 「第5期幸区區民会議」スケジュール案(2015(平成27)年12月18日時点)

	2014年度(平成26年度)										2015年度(平成27年度)										2016年度(平成28年度)			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-5月	6月
区民会議 (全体会議)	7/31 第1回					12/3 第2回			3/19 第3回					8/31 第4回							2/5 第5回			
企画運営 会議					11/17 第1回				3/4 第2回					8/24 第3回						1/25 第4回				
自転車事故ゼロ部会	7/1 第5期幸区區民会議任期開始 ○審議テーマの選定 「自転車の交通安全対策」 ○部会名の決定 ○正副部会長の決定 ○取組の方向性の決定										○現地調査の実施 ○ヒアリングを踏まえた課題解決手法・実施主体の検討 ○課題解決に向けた実践的取組 ○課題解決手法・実施主体の継続的検討 ○提言内容の検討、とりまとめ ○フォーラム実施内容の検討										報告書のとりまとめ 区長へ報告書の提出			
地域力で暮らしやすいまち部会			9/30 第1回	10/28 第2回		12/16 第3回	1/27 第4回	2/20 第5回			4/20 第6回	6/9 第7回	6/29 第8回	7/24 第9回		9/24 第10回	10/29 第11回	11/30 第12回	12/18 第13回					
	○審議テーマの選定 「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」 「地域コミュニティ活動の活性化」 ○部会名の決定 ○正副部会長の決定 ○取組の方向性の決定										○調査・ヒアリングを踏まえた課題解決手法・実施主体の検討 ○課題解決に向けた実践的取組 ○課題解決手法・実施主体の継続的検討 ○提言内容の検討、とりまとめ ○フォーラム実施内容の検討										報告書のとりまとめ 区長へ報告書の提出			
予算要求	平成27年度予算要求										平成27年度予算議決										平成28年度予算要求		平成28年度予算議決	

6/30 第5期幸区區民会議任期終了